

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

Thrombosis in Diffuse Large B-cell Lymphoma: impact on outcome, evaluation, and comparison of predictive models of thrombotic risk. Multicentre retrospective observational study. The PREDIC-TO (PREDICT ThrOmbosis) study.に関する研究

1. 研究の対象

2014年4月1日 から 2022年12月31日 までの間に、当院の血液腫瘍内科でびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2024年12月31日 まで

3. 研究目的・方法

目的 下記の診療情報等を利用し、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者さんでの血栓症発症リスクを予測するモデルを作成することを目的とした研究を実施するために、当院においてびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに必要なデータを選び深部静脈血栓症発症に関する分析を行い、発症リスクを予測するモデルを作成します。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目 4 に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用しま

す。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：該当なし
- ・情報：性別、生年月日、診断日、診断時年齢、先行するリンパ腫、R-IPI score、リンパ腫免疫組織染色の結果、血液検査結果、アスピリン内服、深部静脈血栓症・心筋梗塞・脳梗塞の既往、日常生活の制限、肥満、リンパ腫の部位、中心静脈カテーテル、放射線治療、抗がん剤、中枢神経予防、深部静脈血栓症、最終診療日

5. 研究組織

上記の情報を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

主な提供方法：電子的配信

共同研究機関および研究責任者名

Fondazione IRCCS San Gerardo dei Tintori City Federica Cocito

Università degli Studi Milano-Bicocca, Ivan Civettini

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属八王子病院 (電話：代表 042-639-1111 PHS : 5491)

研究責任者 血液腫瘍内科 横山 健次

問い合わせ担当者 血液腫瘍内科 横山 健次